

# 丹波市 地域おこし 協力隊

地域おこし協力隊の活動を報告します

## 観光資源を活用した旅行を立案

### くまがい あつし 熊谷篤さん vol.39

経歴:京都市出身。(株)日本交通公社(現在のJTB)に入社。早期退職し、訪日外国人対象の旅行会社を設立。  
任期:平成29年5月～



こんにちは!熊谷です。平成29年5月から今年の4月末まで3年間、市の魅力を発信し、国内外からお客様を呼び込む活動を行ってきました。

市のごく日常の風景、例えば陽光に輝く水田や、整列して歩いて通学する小学生の姿は、海外からのお客様にとっては、大変珍しく感じる非日常の光景です。何の変哲もない私たちの日々の生活が、大きな観光の魅力になり得るのです。

私がこの3年間、市内の皆さんとお話ししてきたことは、お金をかけて建物を建てたり、イベントを開催したりすることだけではなく、「お金のかからない今ある日常」を生かした観光のスタイルです。それを海外に向け

て発信すること、並行して市内の皆さんと受入れの準備をすること、双方が私の重要な仕事だと思って活動してきました。

これからは私の会社で、この活動を続けていきます。新型コロナウイルス感染症の影響で、旅行は世界規模でキャンセルされています。しかし、必ずまた人が動き出す時がきます。その時に向けて、今SNSやホームページを活用して、市の観光の魅力を売り込んでいます。

私の旅行業界での経験や知識と、この3年間の地域おこし協力隊員としての経験が、市の将来に役立つものになれば大変嬉しく思います。



ロシアの旅行会社との商談中(写真右)

## 市長コラム 丹波語り

### 新型コロナウイルス対策の約束事



新型コロナウイルス感染症に関する、ドイツのメルケル首相の演説からの抜粋です。  
「事態は深刻です。第二次世界大戦以来、社会全体の結束した行動が、ここまで試された試練はありませんでした。あらゆる取り組みの指針となるのは、ウイルスの感染拡大速度を遅くすること、そして時間を稼ぐ中で治療薬とワクチンを開発してもらい、発症した人が良い医療を受けられるようにすることです。不要な接触を避けることは、感染者数の増加に日々直面している、全ての医療関係者を支援することにつながります。そうすることで私たちは多くの命を救っているのです。  
最も有効な手段とは、私たち自身です。誰もが助け合わねばなりません。無関係な人など一人もいません。全員が当事者で

あり、私たち全員の努力が必要なのです。」  
日本国内でも異口同音に言われている言葉ではありますが、一つひとつ胸に残ります。  
国の専門家会議の中で、感染拡大を抑え込むために、外出自粛など多くの「約束事」が決められました。それは、自分自身のためでもあり国民全体の健康と命を救うことにもなり、ひいては経済や暮らしの崩壊を食い止めることでもあります。  
皆さん「自粛疲れ」や「生活への不安」があるでしょう。しかし一日でも早くこれまでの日常を取り戻すために、どうか今後しばらくの間、示されたルールを守り、思いやりと理性を持って行動してください。今この時、明らかに私たち自身が試されていると感じます。

※メルケル首相の発言を一部要約して掲載しています。

丹波市長 谷口進一